

台風17号 石淵ダム最後の洪水対応 ～ダムの効果について～

台風17号に伴う出水で、北上川ダム統合管理事務所が所管する**石淵ダム・四十四田ダム・湯田ダム**では、洪水貯留を行い、**石淵ダムでは約392万 m^3** （岩手県庁約46杯分）**四十四田ダムでは約130万 m^3** （岩手県庁約15杯分）、**湯田ダムでは約630万 m^3** （岩手県庁約74杯分）の水をダムに貯め込み、下流河川の水位上昇抑制に効果を発揮しました。

特に、石淵ダムは9月30日でその役割を終了する予定でありましたが、この台風17号の出水において最後の洪水貯留の対応を行っております。

○石淵ダムの洪水貯留効果について

今回の出水で、石淵ダムで貯めた水の量は**約392万 m^3** となります。

ダム下流の大歩地点で約0.6mの水位上昇が抑制されたと推定されます。

今回の出水は、ダムに流れ込む水量が**観測史上5位を記録**しました。

（北上川ダム統合管理事務所の計算値より）

	流域平均 累加雨量 ※1	最大流入量 発生日時	最大流入量 ※2	最大流下量 ※3	調節量 ※4	貯め込んだ 水の総量
石淵ダム	163 mm	10月1日 2時50分	816 m^3/s	470 m^3/s	346 m^3/s	392万 m^3

今回の台風17号の洪水対応をもって、石淵ダム管理を終了し、胆沢ダムへ役割を引き継ぎます。

※1 流域平均累加雨量：降り始めから最大流入量を記録する直前（5/4 13:00）までの速報値

※2 最大流入量：ダムに流れ込んだ水量の最大値

※3 最大流下量：ダムから下流へ流した水量の最大値

※4 調節量：最大流入量と最大流下量の差

○四十四田ダムの洪水貯留効果について

今回の出水で、四十四田ダムで貯めた水の量は約130万m³となります。
 ダム下流の館坂橋地点で約1mの水位上昇が抑制されたと推定されます。
 (北上川ダム統合管理事務所の計算値より)

	流域平均 累加雨量 ※1	最大流入量 発生日時	最大流入量 ※2	最大流下量 ※3	調節量 ※4	貯め込んだ 水の総量
四十四田ダム	78 mm	10月1日 7時30分	407 m ³ /s	140 m ³ /s	267 m ³ /s	130万 m ³

○湯田ダムの洪水貯留効果について

今回の出水で、湯田ダムで貯めた水の量は約630万m³となります。
 ダム下流の広表地点で約1mの水位上昇が抑制されたと推定されます。
 (北上川ダム統合管理事務所の計算値より)

	流域平均 累加雨量 ※1	最大流入量 発生日時	最大流入量 ※2	最大流下量 ※3	調節量 ※4	貯め込んだ 水の総量
湯田ダム	105 mm	10月1日 3時40分	756 m ³ /s	49 m ³ /s	707 m ³ /s	630万 m ³

引き続きダムからの放流を行っておりますので、河川の水位等につきまして十分注意をしてください。

※ダムに関する情報につきましては、当事務所のホームページでご覧頂けます。

ホームページ URL <http://www.thr.mlit.go.jp/kitakato/>

発表記者会：岩手県政記者クラブ

問い合わせ先
国土交通省 北上川ダム統合管理事務所 副所長(技術) 尾形 清 管理第一課長 中島 勇一郎 TEL 019-643-7831 (代表)

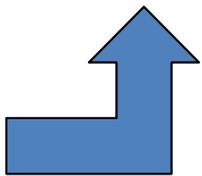
北上川水系 石淵ダムの効果 (平成24年10月1日 台風17号)

- 今回の洪水期間中において、最大約392万m³ (岩手県庁約46杯分)の水を貯留し、下流の洪水被害の軽減を図った。
- ダム下流の広表地点 (奥州市胆沢区若柳付近) では、約0.6mの水位を低減させる効果があったものと推測。
- 今回の出水は、ダムに流れ込む水量が観測史上5位を記録しました。

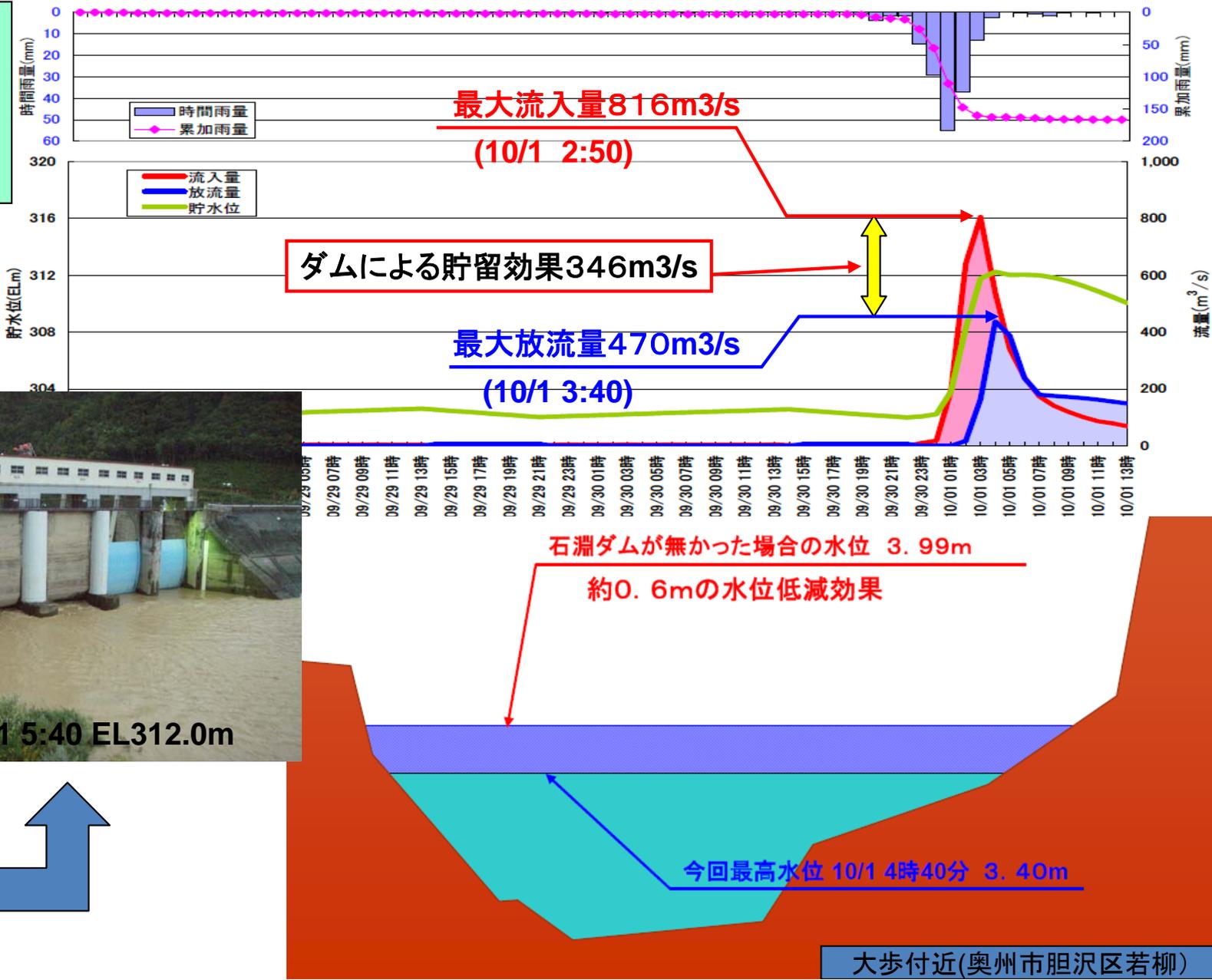
大歩地点の水位 (10/1 4:40)
 ダム調節後 : 3.40m
 ダムが無い場合 : 3.99m
 →約0.6mの水位低減



10/1 5:40 EL312.0m



9/28 13時 EL302.7m

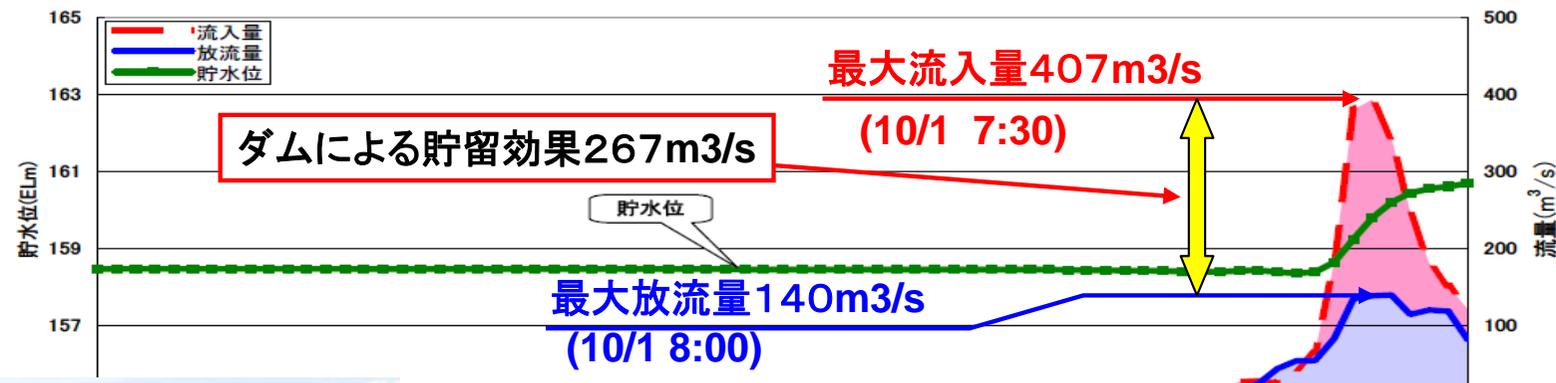


大歩付近(奥州市胆沢区若柳)

北上川水系 四十四田ダムの効果 (平成24年10月1日 台風17号)

○今回の洪水期間中において、最大約130万m³ (岩手県庁約15杯分) の水を貯留し、下流の洪水被害の軽減を図った。
 ○ダム下流の館坂橋地点 (盛岡市北夕顔瀬付近) では、約1mの水位を低減させる効果があったものと推測。

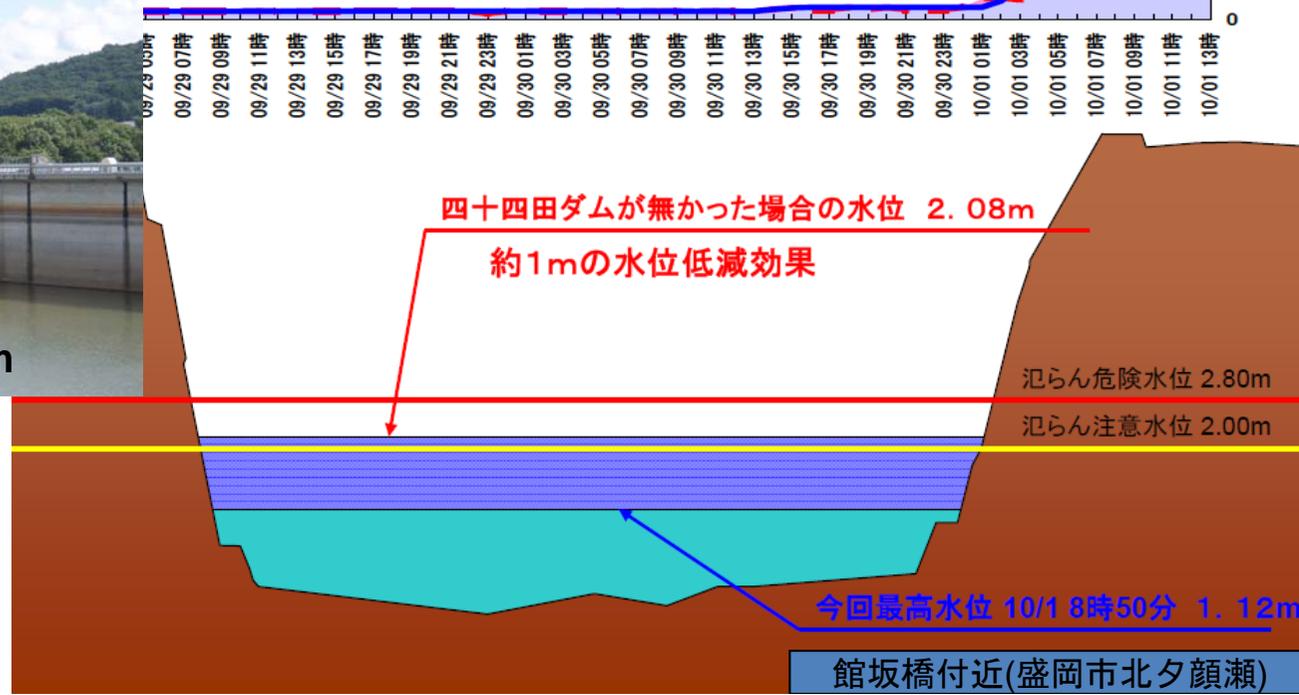
館坂橋地点の水位 (10/1 8:50)
 ダム調節後 : 1.12m
 ダムが無い場合 : 2.08m
 →約1mの水位低減



10/1 12時 EL163.4m



9/30 14時 EL158.4m



館坂橋付近(盛岡市北夕顔瀬)

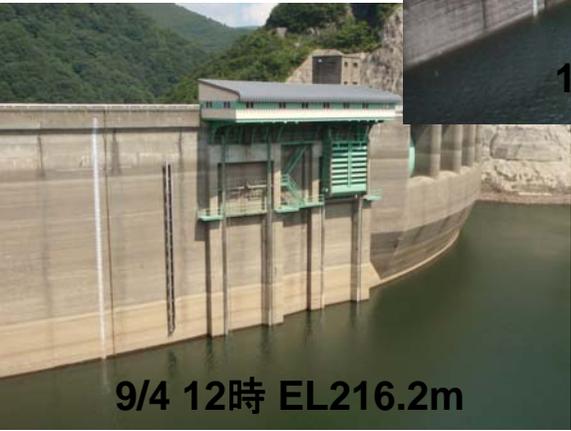
北上川水系 湯田ダムの効果 (平成24年10月1日 台風17号)

○今回の洪水期間中において、最大約630万m³ (岩手県庁約74杯分)の水を貯留し、下流の洪水被害の軽減を図った。
 ○ダム下流の広表地点 (北上市江釣子付近) では、約1mの水位を低減させる効果があったものと推測。

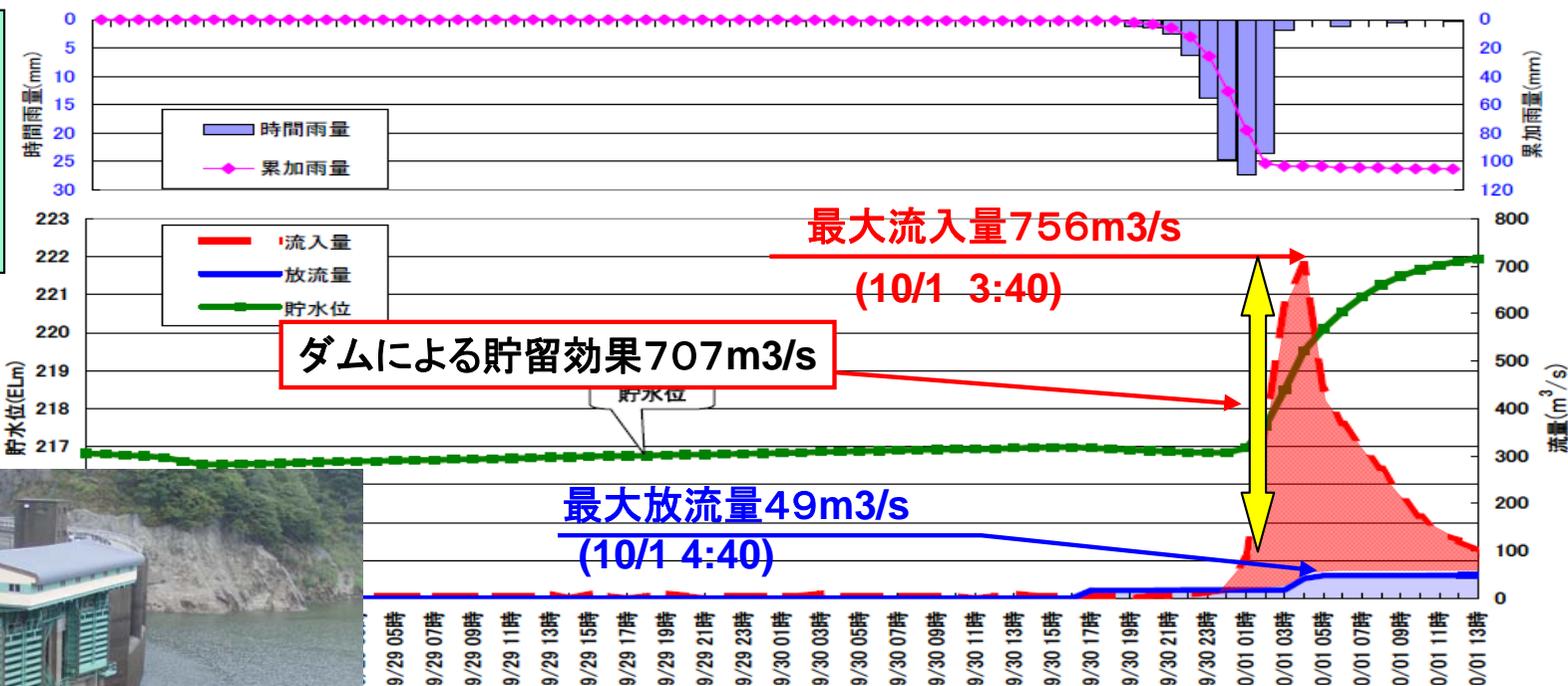
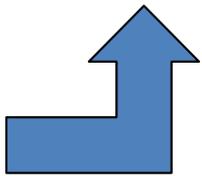
広表地点の水位 (10/1 5:00)
 ダム調節後 : -1.30m
 ダムが無い場合 : -0.18m
 →約1mの水位低減



10/1 6時 EL220.6m



9/4 12時 EL216.2m

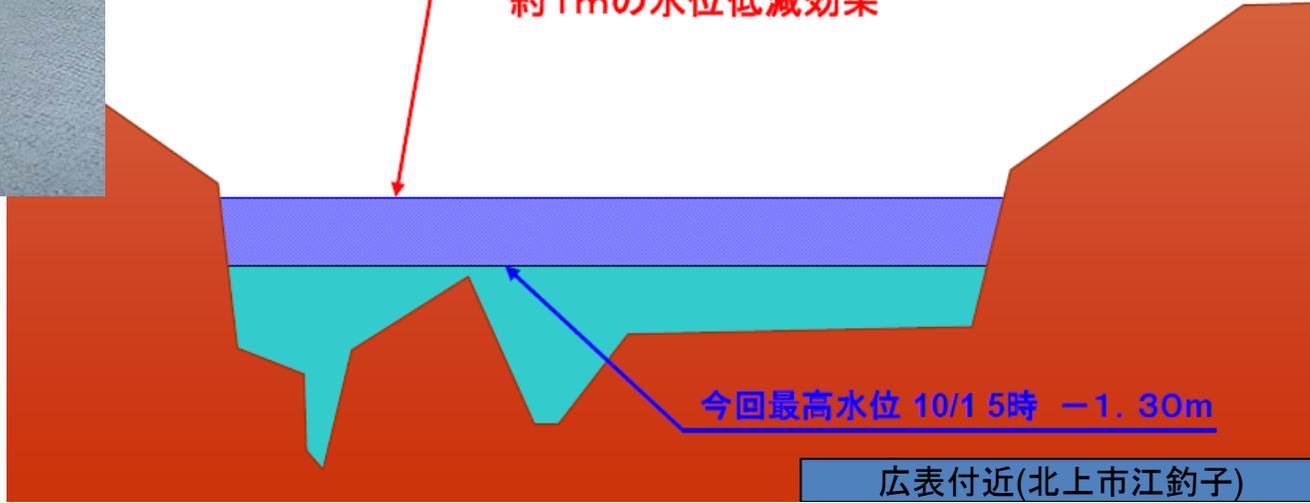


ダムによる貯留効果707m³/s

最大流入量756m³/s
 (10/1 3:40)

最大放流量49m³/s
 (10/1 4:40)

湯田ダムが無かった場合の水位 -0.18m
 約1mの水位低減効果



今回最高水位 10/1 5時 -1.30m

広表付近(北上市江釣子)